

株主通信

平成28年度(第98期)

第2四半期連結累計期間

(平成28年4月1日から9月30日まで)

◎ 株式会社 日立ハイテクノロジーズ

証券コード:8036

Contents

- P 1 トップインタビュー
「成長戦略の着実な実行により
さらなる成長への加速を図る」
- P 3 数字からわかる日立ハイテク
- P 5 連結財務ハイライト
- P 6 事業概況
- P 7 特集 誌面工場見学
- P 9 日立ハイテクのCSR
- P10 会社概要/株式の状況/株主メモ
裏表紙 クーラーズ通信

成長戦略の着実な実行により さらなる成長への加速を図る

業績の報告と業績見通しおよび中期経営戦略の進捗状況について、執行役社長の宮崎よりご説明します。



平成28年度第2四半期連結累計期間の

Q1. 業績と、通期の見通しについてお聞かせください。

A1. 当第2四半期は前年同期と比べて減収増益となりました。平成28年度通期については、事業の状況を勘案し、前回予想を修正いたしました。

平成28年度第2四半期連結累計期間の業績は、科学・医用システムにおいて医用分析装置の大口案件の増加や中国市場向けの販売が堅調に推移し、また電子デバイスシステムで測長SEMの販売が好調に推移したものの、産業システムでの一部製品の販売減少や先端産業部材における素材価格低迷の影響等により、売上収益は前年同期比(以下同)3%減の3,048億円となりました。一方EBIT^{*1}は、電子デバイスシステムにおいて測長SEMの販売が好調に推移したこ

となどから23%増の273億円、親会社株主に帰属する四半期利益も23%増の209億円となり、減収増益となりました。

なお、中間配当につきましては、株主の皆様に対する適正な利益還元を行うという基本方針のもと、当第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、当初の配当予想から5円増配の1株当たり35円といたしました。

平成28年度通期業績見通しは、現在の事業環境や業績の動向等を踏まえ、売上収益は前回予想から300億円下方修正した6,300億円を見込んでおりますが、EBITは61億円上方修正の458億円、親会社株主に帰属する当期利益は40億円上方修正の355億円を見込んでおります。

*1 EBIT (Earnings Before Interest and Taxes) : 税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値

Q2. 中期経営戦略のKPI^{*2}について、進捗状況をお聞かせください。

A2. 中期経営戦略で設定したKPIのうち、収益性とサービス比率については、平成28年度通期では一部で目標を下回る見通しですが、中期経

営戦略の最終年度である平成30年度での目標達成に向けて引き続き成長戦略を実行してまいります。

中期経営戦略では、各事業を「Instruments」と「Materials」に区分してマネジメントを行っています。平成28年度通期業績見通しにおける「Instruments」のEBITマージン率^{*3}は12%で、KPIである10%以上を維持できる見通しです。「Materials」のEBITは22億円ですが、平成30年度に達成予定であるEBIT絶対額50億円以上のKPIに向けて、引き続きバリューチェーン・ソリューション事業の新規案件拡大や積極的な事業投資により収益拡大を図ってまいります。またEBITに占めるサービス比率は61%と、KPIの50%以上を維持する見通しです。

*2 KPI (Key Performance Indicator)：重要業績評価指標

*3 EBITマージン率：EBIT÷売上収益。収益性を示す指標。

Q3. 中期経営戦略における投資戦略について、現在の状況をお聞かせください。

A3. 科学・医用システム、電子デバイスシステムを中心に積極的な成長戦略投資を実行してお

り、2020年(平成32年)に向けてさらなる成長の加速を図ってまいります。

研究開発については、科学・医用システムにおける生化学・免疫市場での競争力強化に向けた新製品開発や遺伝子・細菌検査事業の立ち上げに向けた開発リソースの投入、電子デバイスシステムでは新構造・新材料など多様なニーズに対応する新たなソリューション開発に取り組んでいます。設備投資は、科学・医用システムにおける日立ハイテク九州および北米における科学機器の開発拠点の設立、電子デバイスシステムにおける微細加工分野でのプロセス開発体制強化に向けたデモ設備拡充などを推進しています。また事業投資については、中国では体外診断事業強化に向けた合弁会社設立、欧州では電子顕微鏡の販売代理店の全株式取得契約を締結、ブラジルでは現地金型鋼販売会社の全株式を取得するなど、今後もバイオ・ヘルスケアおよび社会・産業インフラを中心にさらなる成長投資を検討してまいります。

Q4. 中期経営戦略を推進していくにあたり、事業を支える経営基盤についてお聞かせください。

A4. 社会の多様性を尊重する企業文化の醸成に努めるなど、「ダイバーシティ・マネジメント」を経営の中核に据えて、強固な経営基盤の構築に努めることで安定的な成長をめざしています。

日立ハイテクグループは、ハイテク・ソリューションを提供しお客様の最大価値を実現することで、社会課題の解決や企業価値の向上をめざしています。価値創造を実現するため、多様な感性や価値観を取り入れることがさらなる成長に必要であるという考え方から、「人財」を最も重要な資源の一つと位置づけ、「ダイバーシティ経営」に取り組んでいます。業務プロセスの見直し、フレックスタイム制や在宅勤務などの活用を促進し働く時間や場所の柔軟性を高めるなど、今後も多様な人財が活躍できる職場風土の醸成を推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導をいただきたく、よろしくお願いいたします。

数字からわかる日立ハイテク

—— 価値創造を支える基盤 “人財”



日立ハイテクグループでは、「人財」を“日立ハイテクの価値創造を支える基盤”的重要な資源の一つとして位置づけています。2016年9月には「日立ハイテクグループ働き方改革宣言」を発表し、経営トップ自らが働き方改革をリードするとともに、従業員の意識改革の実践を図っています。企業価値創造を支える基盤“人財”に関する具体的な施策や目標について、数字を通してご紹介します。

■ 働きやすさ

働き方改革プロジェクト

(ニーマルニーマル) 20-20 プロジェクト

働き方改革の一環として、生産性の高い働き方の実現に向けて、2015年度に“20-20(ニーマルニーマル)プロジェクト”を開始しました。これは勤務時間の効果的な活用とメリハリのある働き方を創意工夫することで、従業員一人ひとりの力の発揮と組織力向上をめざすものです。具体的な目標として、月平均の時間外労働時間は20時間を上限することと、年間の有給休暇取得20日を掲げています。

20hours



20days

育児休業復職率

94.7%

※日立ハイテク単独

子どもが小学校1年修了時までの通算3年を限度として、必要な期間に休暇を取得することができる育児休暇制度を38名の従業員が利用しています(2016年3月末現在)。また、育児休暇制度を利用した従業員のうち94.7%は、短時間勤務制度の活用などにより復職しており、仕事と家庭の両立を支援しています。



障がい者雇用比率

2.46%

※国内連結実績

障がい者雇用については、人財の多様性および企業の社会的責任の両面から、特例子会社である日立ハイテクサポートを核として、知的障がい者・精神障がい者の職域拡大等に取り組んでいます。2016年9月末時点の障がい者雇用比率は法定雇用率(2.0%)を超える2.46%を実現しています。また、障がいのある従業員のスキルアップにも積極的に取り組んでおり、「全国障害者技能競技大会(アビリンピック)」に出場し、国際大会を含めてメダルを獲得しています。

人財育成

技能五輪

8回

国際大会出場数*

6個

国際大会メダル獲得数*

74個

国内大会メダル獲得数*



生化学自動分析装置や電子顕微鏡、汎用分析装置、半導体製造装置等のハイテク製品を支えているのは、絶え間ない最先端技術の開発とそれを製品として形にする最高水準の技能です。日立ハイテクでは技能者の育成に積極的に取り組んでおり、その一環として毎年開催される「技能五輪全国大会」に長年にわたり挑戦し、これまでに国際大会も含めて数多くのメダリストを輩出しています。日立ハイテクは、幅広い職種で最高水準の技能を發揮できる人財の育成に取り組んでいます。



従業員の海外経験

50% 以上

*日立ハイテク単独

グローバルな視点でビジネスに対応できる人財の早期育成に向けて、「入社7年以内に50%以上の従業員が海外経験」を当面の目標として若手の海外派遣に積極的に取り組んでいます。2011年には1年間の海外研修に加えて、期間・派遣先等をより柔軟に選択できる短期若手海外派遣プログラムをスタートさせ、毎年20名前後が海外で研修をしています。また、2016年4月入社の総合職新入社員のうち8%は外国籍社員で、多様な人財の採用にも努めています。

教育受講日数

9日

*日立ハイテク単独

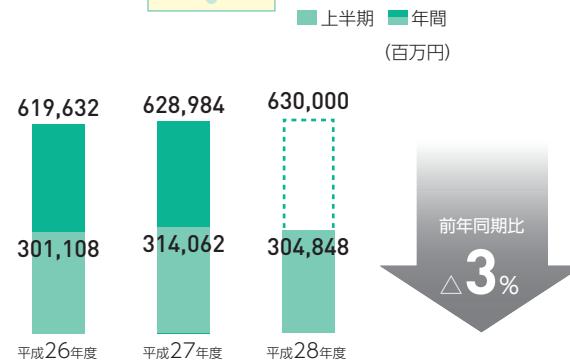
グローバルな人財に必要なスキルの習得は、職場でのOJT^{*1}に加え、さまざまな教育プログラムを通して実施しています。職種別、階層別に、「質」と「量」の両面を確保する内容で、2015年度の教育受講日数は平均9日／人となっています。ビデオ学習教材やe-Learning^{*2}等を活用し、教育機会を増やす工夫も継続的に行ってています。

*1 OJT:On the Job Training(日常業務を通じた従業員教育) *2 e-Learning:インターネットを利用した学習形態

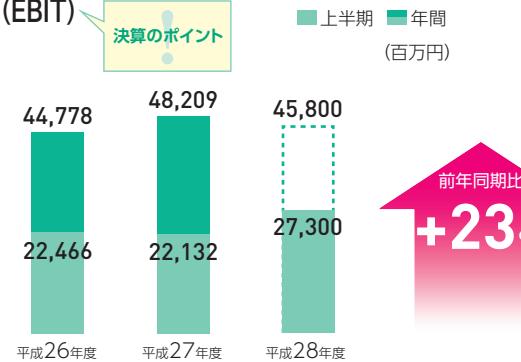


* 売上収益、EBIT、税引前四半期(当期)利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)利益の平成28年度年間の数値は、業績予想値を表示しています。また、前年同期比は第2四半期連結累計期間と比較しています。

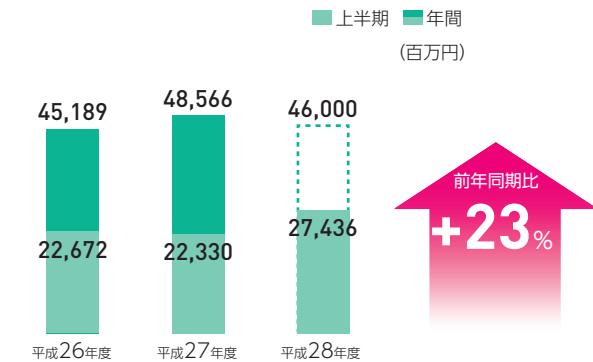
▶ 売上収益 決算のポイント



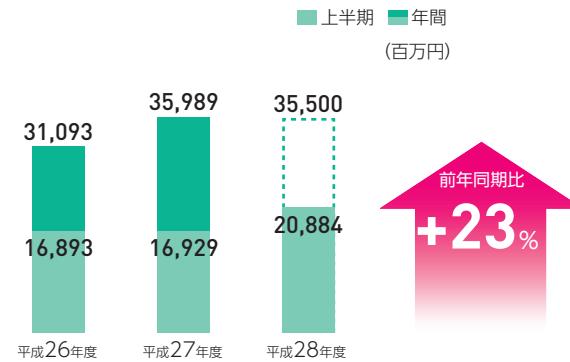
▶ 受取利息及び支払利息調整後税引前四半期(当期)利益 (EBIT) 決算のポイント



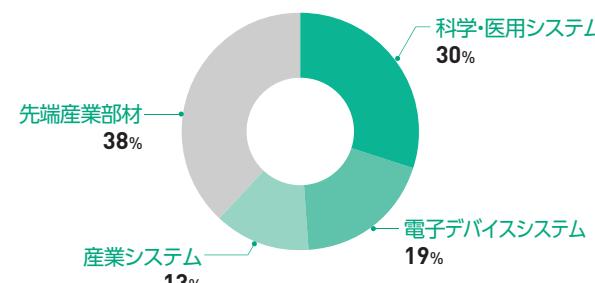
▶ 税引前四半期(当期)利益



▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)利益

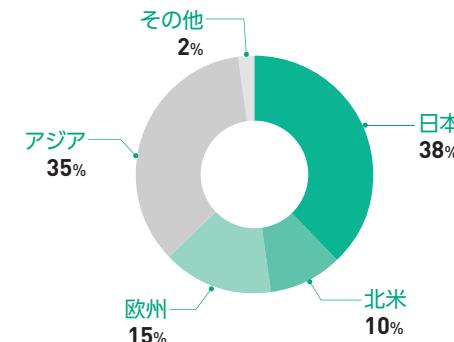


▶ セグメント別売上収益比率



注：合計には「その他・調整額」が含まれていません。

▶ 地域別売上収益比率



*セグメント別売上収益比率、地域別売上収益比率の数値は、第2四半期連結累計期間の実績値を表示しています。

決算のポイント

売上収益・EBIT(前年同期比)

科学・医用システムおよび電子デバイスシステムの主力製品の販売が好調に推移しましたが、先端産業部材の素材価格低迷の影響等により、全体では減収となりました。EBITは、電子デバイスシステムにおける測長SEMの販売増加により増益となりました。

科学・医用システム

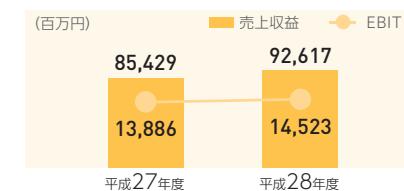
生化学自動分析装置や電子顕微鏡・科学機器など、ライフサイエンスや医用システム分野で実績を重ねながら、基礎技術とアプリケーションを融合したソリューション力、グローバルトップとの共同研究やコラボレーションで時代をリードしています。



当第2四半期連結累計期間の概況

決算のポイント

- 科学システム（電子顕微鏡・科学機器）は、新製品の発売があったものの、円高の影響に加え、欧州における大型案件の投資抑制や国内の大学官公庁の予算削減等により減少しました。
- バイオ・メディカルは、大口案件の増加や中国を中心としたアジア市場での需要が堅調に推移したため大幅に増加しました。



電子デバイスシステム

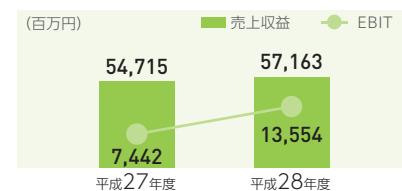
主力製品は、世界トップシェアの測長SEMや、超微細加工を実現したプラズマエッチング装置など。半導体メーカーとのアーリーコラボレーションなどにより、世界トップレベルのソリューションを提供しています。



当第2四半期連結累計期間の概況

決算のポイント

- プロセス製造装置は、円高の影響を受けましたが、次世代先端プロセス投資の開始や改造案件等によりサービス事業が好調であったことから微増となりました。
- 評価装置は、測長SEMの販売が好調に推移し増加しました。



産業システム

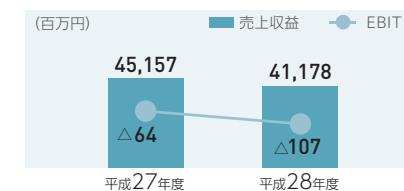
主要製品は、鉄道の安全運行に欠かせない軌道・架線検測装置や総合計装システム・自動車部品組立装置、IoTソリューションなど。今後成長が見込まれる環境・新エネルギー分野でも事業を展開し、人々の快適な暮らしに貢献しています。



当第2四半期連結累計期間の概況

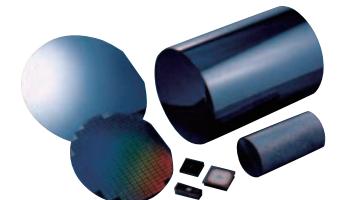
決算のポイント

- 社会インフラは、太陽光EPC案件の立ち上げにより微増となりました。
- 産業インフラは、薄膜製造装置等の販売増により微増となりました。
- ICTソリューションは、車載用ハードディスクドライブの販売減により大幅に減少しました。



先端産業部材

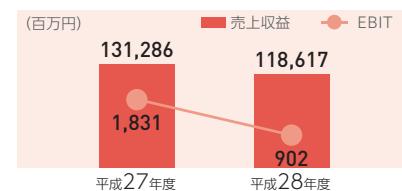
実績豊かな商社としての工業材料・電子材料における営業力・調達力を活かしたバリューチェーン・ソリューションを提供し、ハイテク分野の“モノづくり”をサポート。日立グループの商社として、グループ製品のグローバル販売等にも貢献しています。



当第2四半期連結累計期間の概況

決算のポイント

- 工業材料は、素材価格低迷の影響により大幅に減少しました。
- 電子材料は、スマートフォン関連部材の販売減により大幅に減少しました。



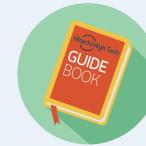
モノづくりの現場ってどんなところ?



今回やってきたのは、茨城県ひたちなか市にある、日立ハイテクのモノづくりの拠点のひとつ、那珂地区。今回は那珂地区製品の製造現場をご紹介します。



那珂地区では医用分析装置、電子顕微鏡、半導体計測・検査装置の開発、設計、製造を行っています。那珂地区的面積は約15万平方メートル。東京ドーム約3個分の広さです。



日立ハイテク



ここは機械加工職場です。医用分析装置や電子顕微鏡をはじめ、那珂地区でつくっているさまざまな製品の部品を加工しているんですよ。

加工職場

部品の最終加工を行っている様子です。ここでつくる精密な製品は、人の手で調整しながら仕上げます。



できる限り真円にするため、手に伝わる感触で状態をつかみながら進めていきます。様子を見て、削るスピードを変えたり、道具を変えてみたり…。こういう微妙な加減は手だからこそ可能なんです。

の那珂地区へ！



ここは医用分析装置の組立職場です。作業台が少しずつ動いていて、各工程が時間管理されています。



ここはクリーンルームです。小さなチリやホコリが入らないよう、厳密に管理されています。電子顕微鏡などの精密機械は、こうした環境でつくられます。

組立職場



この複雑な機器を組み立てるのは相当難しく、機種ごとに組み立て方が異なるので、作業者が幅広く対応できるようになるには1年ほどかかります。組み立ての精度は性能に影響するので、とにかく正確にできるようになることが大事です。



那珂地区 プロフィール

所 在 地：茨城県ひたちなか市市毛882

操 業 開 始：1961年2月

従 業 員 数：約4,000人

敷 地 面 積：約15万平方メートル

主な生産品目：医用分析装置、電子顕微鏡、半導体計測・検査装置



▼組み立てた製品の完成品がこちらです▼



那珂地区ではこんな製品を開発・設計・製造しています。



日立自動分析装置
「LABOSPECT 008α」



走査電子顕微鏡
「FlexSEM 1000」



高加速測長装置
「CV5000シリーズ」

理科教育 支援活動

先進国の共通課題である児童・学生の「理科離れ」は、企業にとって研究開発を担う人財の獲得難に、国家にとっては国際競争力の低下につながる課題です。数十年にわたり電子線技術や分光分析技術といったコア技術を用いた最先端の分析装置の開発・製造・販売に携わってきた日立ハイテクグループは、科学機器をはじめとした「技術」「製品」を最大限に活かした理科教育の振興支援を行うことで、人財育成と社会の発展に貢献しています。



NOW

■ 立ハイテクが2005年に完成させた高性能かつポータブルな卓上型電子顕微鏡「Miniscope®」は、シリーズ販売実績3,500台を超えるヒット商品となっています。この卓上型電子顕微鏡を活用した理科教育支援活動を実施しています。

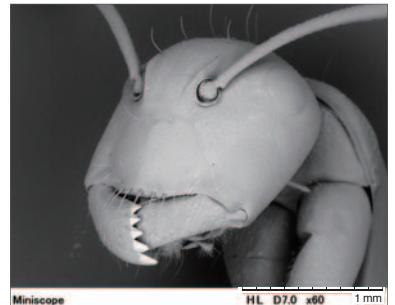
小・中・高校への出前授業や、科学館・企画展などへの展示実演などさまざまな学習イベントに協力し、身近な物をミクロのスケールで見る体験を通じて子どもたちの科学技術への興味を喚起することを目的としています。2015年度は、東京都や福島県の出前授業を中心に、約3,000名の子どもたちにミクロの世界を体験してもらいました。



出前授業



卓上型電子顕微鏡「Miniscope®」



クロオオアリの頭部の画像

千葉県佐倉市立青苔小学校にて実施
(2016年9月)

FUTURE

活動 動は国内のみならず、海外でも展開しています。北米、南米では販売代理店との連携や専用ウェブサイトの開設により、活動件数や対象エリアの拡大を推進中です。欧州では2011年から2015年の間、ドイツの教育プロジェクト向けに卓上型電子顕微鏡を無償提供しました。また、韓国でも活動をスタートしています。

今後は中国や台湾、アフリカなど活動対象エリアを順次拡大する予定です。さまざまな関連団体との協力関係を構築するとともに戦略的にプログラムを実施し、科学研究を担う次世代人財育成への貢献を通じて、社会に価値を提供していきます。



写真上: 韓国・ソウルで開催された「日韓交流おまつり 2016 in Seoul」の企業ブースで卓上型電子顕微鏡の体験イベントを実施(2016年10月)

写真右: アメリカ・シカゴで開催した「子どもの職場体験」の様子(2016年4月)

会社概要(平成28年9月30日現在)

商 号 株式会社日立ハイテクノロジーズ
本社所在地 東京都港区西新橋一丁目24番14号
設立年月日 昭和22年4月12日
資 本 金 7,938百万円
従 業 員 連結 10,163名
 単独 3,812名

役 員	取締役	取締役会長 久 田 真佐男 取 締 役 大 宮 正 啓 取 締 役 中 川 義 一 取 締 役 村 豊 明 社外取締役 早 川 世 道 社外取締役 戸 田 道 二 社外取締役 西 見 有	執行役専務 木 宇 佐 執行役専務 中 藤 島 執行役常務 中 橋 本 執行役常務 本 田 純 執行役常務 田 嶋 博 執行役 岡 田 秀 執行役 岩 和 浩 執行役 今 西 博 執行役 櫻 堀 浩 執行役 太 裕 司 執行役 昭 真 久	勝 俊 高 俊 真 高 隆 一 穂 一 義 秀 浩 务 和 太 井 裕 堀 司 越 久
執行役	代表執行役 執行役社長 代表執行役 執行役専務	宮 崎 正 啓 池 田 俊 幸		

株式の状況(平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数 350,000,000株
発行済株式総数 137,738,730株
株 主 数 6,627名

株式分布状況

所有者別株式分布状況(持株数)



所有者別株式分布状況(株主数)



1株当たり配当金



大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社日立製作所	71,135,619	51.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,328,200	3.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,567,300	2.59
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジエイピーアールディ アイエスジー エフィー－エイシー	2,235,523	1.63
チーズ マンハッタン バンク ジーティーエス クライアント アカウント エスクロウ	2,200,219	1.60
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	1,722,130	1.25
日立ハイテクノロジーズ社員持株会	1,632,696	1.19
818517ノムラルクスマルチカレシシ ジエイビストクリド	1,119,800	0.81
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	1,086,947	0.79
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	1,082,400	0.79

(注) 持株比率については、自己株式(208,976株)を控除して算出しております。

株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月
- 上場証券取引所** 東京証券取引所(市場第一部)
- 剰余金の配当の受領株主確定日** 毎年3月末日および9月末日
- 株主名簿管理人** 東京証券代行株式会社
- 同上事務取扱場所** T101-0054
東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
(神田錦町三丁目ビルディング6F)
- [郵便物送付先・連絡先]** T168-8522
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
東京証券代行株式会社 事務センター
- お問合せ先** 0120-49-7009
- 株主名簿管理人の事務取次所** 三井住友信託銀行株式会社
全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)
- 住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**
お取引口座のある証券会社等にお申し出ください。
ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
- 未支払配当金のお支払について**
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
- 「配当金計算書」について**
配当金を銀行等口座振込(株式数比例配分方式を除きます。)または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払の際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねてあります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引口座のある証券会社等にご確認ください。



日立ハイテクノロジーズ 女子バスケットボール部

クーガーズを応援しよう!

皆様の熱いご声援をお願いいたします

日立ハイテクノロジーズ 女子バスケットボール部「クーガーズ」の今シーズンの目標は“ベスト8”です。

チームスローガンである「CHALLENGE OPEN SPEED TEAMWORK ~飛躍~」のもと、

チーム一丸となって最終戦まで全力で戦いますので、皆様のご声援をよろしくお願いします。

なお、試合の詳細スケジュールは「日立ハイテク クーガーズ公式ウェブサイト」をご覧ください。



八木 香澄 キャプテン G(ガード)

今シーズンは、選手全員がどこからも攻め得点が取れるよう、
攻撃力に磨きをかけWリーグにチャレンジします。
ぜひ試合会場で私たちが躍動する姿をご覧ください。

日立ハイテク
クーガーズ公式ウェブサイト
<http://www.hitachi-hightech.com/jp/about/ad/sponsor/cougars/>



◎ 株式会社 日立ハイテクノロジーズ

〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
Tel : (03)3504-7111
URL : <http://www.hitachi-hightech.com/jp/>

Wリーグ(Women's Japan Basketball League)は
10月7日に開幕しました！

12月の試合日程

第17戦	12/3(土)	vs トヨタ紡織	茨城県ひたちなか市
第18戦	12/4(日)	vs トヨタ紡織	茨城県土浦市
第19戦	12/10(土)	vs 山梨	山梨県甲州市
第20戦	12/11(日)	vs 山梨	山梨県甲州市
第21戦	12/17(土)	vs 羽田	東京都大田区
第22戦	12/18(日)	vs 羽田	東京都大田区

Topics

ひたちなか市立佐野幼稚園でバスケットボールクリニックを行いました。

5月



今シーズンから
チームカラーが
ハイテクグリーン
になったクー。

大牟田市立白光中学校でバスケットボールクリニックを行いました。

7月

